

2017年 11月号

一般社団法人
北海道歯科医師会
北海道歯科医師会HP <https://www.hokkaido-shikaishikai.com>

Hokkaido Dental Association "Doushikai Tsushin" D.NEWS

北見 KITAMI

医療管理事業 医療安全管理講習会
日時：平成29年9月16日(土) 午後4時
場所：北見歯科医師会館
標記講習会が歯科外来環境体制加算の事業とし

て行われた。
講師には、横浜市にて開業されており、日本歯科医療管理学会 副会長で日本歯科医師会 前理事(医療管理担当)の片山繁樹先生をお招きし、安心して診療するための医療安全管理Ⅱ～安全・安心・信頼を提供するための取組みと日本歯科医師会情報～と題し、講演していただいた。
講師の片山先生には、3年前にも北見にお越しいただき、講演していただいたが、その当時に



題になっていたタービン使い回し報道を受け、患者さんの安全意識が高まっており、外来環

伴う医療事故調査制度等の話があった。
院内におけるさまざまな安全対策において、スタッフ間のコミュニケーションが重要で、朝夕にミーティングをしたり、院内グループLineを作ったりして活用しており、成果が上がっているようだ。
「医療安全管理には、今以上の労力や経費が掛かると思うが「医療の安全は健全経営の第一歩」と考え充実していきましょう」と締めくくられ、大変参考になる2時間だった。(藤井大記)

札幌 SAPPORO

西・手稲支部合同講演会
日時：平成29年8月26日(土) 午後3時30分より
場所：ホテルサンルートニュー札幌



「ガッテン! 患者と自分が変わるプレゼン術」～演出家的発想法のススメ～&インチャキダイエットの見破り方?と題して、元NHK科学・環境番組部専任ディレクター、元「ためしてガッテン」演出担当デスク、そして現在は経済産業大臣認定・消費生活アドバイザーの北折一氏に講演いただいた。

説明しているのに伝わらない情報番組や印刷物

の欠点を、テンポ良く歯に衣着せぬ勢いで「バッサバッサ」と指摘され、人を惹きつけるワザをご教示いただいた。
そのワザを身につける王道は、作戦を練ることであり、さらに大事なものは「幸せな人を、創出できる」幸せをモチベーションにすることであると述べ、新たな視点を得られ大変有意義な講演会だった。



高齢者の歯のコンクール審査会・表彰式
日時：平成29年9月2日(土) 午後1時30分より
場所：札幌会館

標記審査会・表彰式が開催され、「さっぽろ歯っぴいらんど2017」の

8020表彰参加者より選ばれた6名に参集いただいた。
当日は健診と審査の後、表彰式を行ない、全員に本会ならびに札幌市より表彰状と記念品の贈呈を行なった。

今回の結果をもとに「高齢者の歯のコンクール全道大会」に推薦する代表1名が選出される。(野澤俊彦記)

平成29年度 第1回学校歯科研修会
日時：平成29年9月2日(土) 午後3時より
場所：札幌会館

日本歯科大学新潟病院総合診療科准教授の猪子芳美先生をお招きして、「快眠、快食のススメー睡眠専門歯科医が考える食育ー」と題して講演していただいた。
遅寝はなぜいけないのかについては、寝不足に

なる、心身の成長が阻害される、食生活の不健全化、メラトニンの分泌減少、生体リズムの乱れ(社会的時差ぼけ)、感情のコントロールが困難になるという理由を挙げられ、詳しく解説された。特に、感情のコントロールについてはセロトニンの分泌が重要で、セロトニンを増やすためには質と量が整った睡眠とバランスの良い食事が重要と述べられた。朝食抜きの生活は、脳のエネルギー不足、体温が上がらない、肥満のもとになることから朝食をとることの重要性を述べられました。

次に、「噛みんぐ30」についての講演では、噛むことの効果として、肥満の防止、味覚の発達、胃腸の働きを促進、セロトニンの分泌、脳の発達、口蓋顔面頭蓋の成長を挙げ、それぞれについて詳しく解説された。(堀井豪記)

千歳 CHITOSE

千歳歯科医師会主催学術講演会
日時：平成29年9月15日(金) 午後7時より
場所：エニケンビル3階会議室

標記講演会が行われ、今回は北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系デジタル歯科医学分野教授の疋田一洋先生をお招きして、演題「CAD/CAMによる歯冠補綴の現状とこれから」と題して、講演いただいた。



講演では、最初に疋田先生は北海道大学歯学部を卒業後、北海道大学大学院歯学研究科にて4年間、内山洋一先生のもと「歯冠形態の三次元計測と復元(CAD/CAM)に関する研究」を行っていたとお話があり、次いで2009年4月の北海道医療大学病院におけるCAD/CAM冠の先進医療承認から、2014年2月のCAD/CAM冠の保険収載決定までの道のりについて述べられ、現在CAD/CAM冠の施設基準届出の割合は、全国平均は63.1%で第1位の徳島県は84.3%であるが自費診療率の高い第46位の東京都は52.3%と地域によって差があるとのこと、北海道は、ほぼ全国平均と同じ割合とのことであった。

次いで歯科技工士の現状について、今後10年間で歯科技工士数は約20%、7,000人減少すると予



測され、特に35歳未満の若手歯科技工士数減少が顕著であるとお話の後、保険適応を考慮したCAD/CAM冠に適した材料として物性比較(曲げ強さ)が硬質レジンとの2倍以上であるハイブリッドレジンが、最も適した材料であるとの説明があった。

次にCAD/CAM冠の安定した予後のためには、①安全な症例選択 ②適切な支台歯形成 ③確実な接着操作が重要であり、CAD/CAM冠の表面処理について、接着性レジンセメントによる接着とCAD/CAM冠用ハイブリッドレジンブロックは現在第三世代であり、各製品によってセメントとの相性があるとの説明があった。再製率はFMCが2.25%に対してCAD/CAM冠は1.69%であり、「CAD/CAM冠はなぜ脱離しやすいのか?」については、レジクラウンは応力が分散することにより、セメントがたわみ剥がれることにより脱離すること、また光透過率に起因することも考えられるため、接着後1日程度は固い物を咬まないように、患者さんに指導することが必要であること、セメント層の厚みが接着耐久性に及ぼす影響から、接着耐久性は適合度が大きく影響するとのことであった。

次いで「先進医療導入されたCAD/CAM冠と皮膚科連携」について、金属アレルギー(頭部脱毛症)の臨床例について紹介され、金属アレルギーへの対応は皮膚科との連携が不可欠であること、金属アレルギー患者のCAD/CAM冠の大白歯への適応拡大について述べられた。

最後にジルコニアについて、CAD/CAMデンチャーの現状、口腔内スキャナーの可能性についてお話しされ、講演会は終了となった。講演会後、恵庭市内の「旬菜処たくみ」にて懇親会が行なわれ、疋田先生と千歳会会員との親睦を深めさせていただくことができた。

今回の講演も明日からの臨床において、とても有意義な講演会となった。(井口正晶記)

千歳市健康まつり
日時：平成29年9月9日(土) 午前10時より
場所：北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)

第26回千歳市健康まつりが開催され、4階までの各フロアで健康・食・医療・救急に関するコーナーがあり「食育フォーラム」の講演会も行われた。

歯の健康コーナーは3階視聴覚室で、歯科相談ブラッシング指導とフッ化物洗口体験が午前10時から、RDテストは午後1時から行われた。

午後2時から「高齢者の歯のコンクール」の表彰式が行なわれ、最優秀賞に石岡清司さん、優秀賞15名に賞状が授与された。

全体の来場者数は1,017名、歯科コーナー

157名、歯科相談126名、RDテスト43名だった。(田村基記)

北広島市医師会・歯科対抗ゴルフ
日時：平成29年9月9日(土) 午後1時より
場所：札幌国際カントリークラブ島松コース

標記ゴルフが開催され、対抗ゴルフと言ってもはいるが、いつも医師会にやられっぱなしで、いつしか競技内容がアンダーハンドからダブルベリア方式に変わり、歯科医師会にも上位にくるchanceを与えてもらっている「親睦のみゴルフ」に様変わりしているわけではないが、今年の優勝は歯科医師会の大谷先生だった。スコアも素晴らしく実力の勝利であった。

当会からの参加者は6名(大谷、吉田、小屋、木村、高津、田畑)で初参加の田畑先生は大人の片鱗を伺わせるゴルフだった。(懇親会からは当会の作田先生も参加された)

また、こんな出来事もあった。医師会の北広島病院の脳外科の安斉先生、田畑先生、私の3人の組でしたが、何と、この安斉先生と田畑先生は札幌南高校の同級生という思いがけない出来事もあり、実に高校卒業以来の再会であった。

プレー後、懇親会の席ではゴルフの話だけではなく、整形外科の清野先生とは骨粗しょう症のビスフォスホネート系の薬についての整形外科側からの考え方についてなど、意見交換もでき、いろいろな意味で交流を深めることができた。

また、医師会の先生方からは「歯科の先生方とお話できるのは楽しい」と言っていたのは本当にありがたく、ゴルフだけではなく、今後も交流をより長くそして広く続けていきたいと思う。(高津良二記)

空知 SORACHI

社会保険講習会
日時：平成29年9月29日(金) 午後7時より

場所：滝川ホテル 三浦華園
講師：北海道歯科医師会 常務理事 井谷秀明 先生
日常の診療における、「法的に耐える」診療録記載の充実について、診療録第1面・第2面以降における記載上の注意点を資料に沿って教えていただいた。
個別指導での指導項目における、主要症状の記



載義務や、レセコンカルテ記載の取り扱い、診療録に添付する書面の電磁的記録による保存、レセプト請求での留意事項など、多岐に

わたり具体的にご説明していただき、明日からの診療に役立つ重要な事柄を再認識し、大変勉強になった。

(伊藤公博記)

旭川

ASAHIKAWA

平成29年度健口普及公開講演会
日時：平成29年9月9日(土)
場所：旭川市大雪クリスタルホール
標記講演会が開催された。この講演会は、毎年



8月・9月の「あさひかわ食育推進月間」の関連行事として開催されており、今回は「長寿菌が命を守る～大切な腸内環境コントロール～」をテーマに、うち博士としても有名な理化学研究所の辨

野義己先生に講演をいただいた。参加者は、幅広い年齢層の多くの市民の方々、また、旭川歯科学院専門学校の学生たちも聴講した。辨野先生は、獣医師としての視点もお持ちの「腸内フローラ」研究を第一線で行なっておられる方で「お通じの質が健康寿命を決める」を持論とされ、大腸を健康の発信源としていこうとする考え方を、大変わかりやすく講演いただいた。食事のバランス、ストレスの軽減、運動不足解消などの生

活良習慣への改善が重要なことを改めて理解し、シンバイオティクスで腸内の長寿菌を増やし、健康寿命を伸ばすことができるという認識を持つことができた貴重な講演会となった。理化学研究所の辨野特別研究室では「おなかケアプロジェクト」として、広く便の提供を呼びかけているとのこと。ご協力の程、よろしく願います。(歯の健康づくり広報普及委員会：今宮克明 記)

岩見沢

IWAMIZAWA

第43回 北海道歯科医師テニス大会
日程：平成29年9月23(土・祝)・24日(日)
会場：スパ・インメープルロッジテニスコート
会場となった毛陽町は、岩見沢市の東部に位置し、なだらかな丘陵が連なり、古くからリンゴを中心とした果樹栽培が盛んな土地で、市民から「ふるさと毛陽」と呼ばれ、リゾート地として親しまれてきた。そのリンゴの実が赤くなり始めた9月23日(土・祝)・24日(日)の両日、北海道歯科テニス協会主催、岩見沢テニス部主管で標記大



会が全道各地から48名の選手を集め、スパ・インメープルロッジテニスコートで開催された。午前9時、旗手一永 大会実行委員長から開会宣言が出され、岩見沢会長 倉増 淳 大会会長より「日頃の練習の成果を思う存分、勝敗にこだわり発揮してほしい」、八重樫 裕 北海道歯科テニス協会会長からは「美味しい空気を一杯吸い、怪我のないよう頑張ってください」との挨拶の後、昨年度優勝の男子A 藤下吉典(旭)・今多 将(札)ペア、男子B 松井繁幸(室)・本田 慎(室)ペアより優勝杯返還が行われた。その後、次年度開催地の室蘭歯会の本田 健 先生から「ぜひ来年は室蘭にお越しください。室蘭焼鳥も味わってってください」との挨拶をいただいた。加藤久尚 大会実行副委員長より競技説明が行なわれ、熱い2日間の熱戦の火蓋が切られて落とされた。今大会は、過去にあまり例を見ない2日間にわたる大会ということもあり、また試合会場がリゾート地とあって、熱い応援ばかりではなく、選手

やご家族、応援の方々のくつろがれている姿が多く見られた。試合である以上、勝敗はつきもの。しかし、そこには勝者も敗者の隔たりはなく、また、選手の勇姿ばかりではなく、ご家族や応援団、そして開催スタッフの笑顔が心に残る大会であった。閉会式では旗手 大会実行委員長より『「テニスリゾートを楽しもう」をコンセプトにいつもの大会とは違う環境で開催した。コート面数の関係で2日間の開催という日程となったが、プレーヤーの方々には改めてテニスを楽しんでいただけたかと思う。少ないスタッフとテニスには詳しくない先生方と運営したため、いたらないところも多々あったと思うが、怪我人もなく、皆様の協力のもと無事大会を終えられたことをここに感謝申し上げます。』との挨拶があった。(木村 悟 記)
第32回いわみざわ健康まつり
日時：平成29年10月1日(日) 午前9時45分から午後4時

場所：駅市民広場「イベントホール赤れんが」岩見沢市有明町南1番地14
岩見沢駅東側の「イベントホール赤れんが」で多くの市民を集め、標記イベントが開催され、「第11回8020歯っぴースマイル」の会場を設け、衛生士と技工士と共に8020歯っぴースマイル体験コーナーや無料健診コーナー、無料義歯洗浄コーナーなどを行ない、歯科衛生思想の普及に努めた。午後1時40分からはステージイベントとして、「いつまでの健康な歯で」というキャッチフレーズで先に執り行われた「8020コンクール」と「歯・口に関する図画ポスターコンクール」の表彰式が行なわれた。(木村 悟 記)

十勝

TOKACHI

道東三地区歯科医師会役員連絡協議会・レクリエーション大会
日時：平成29年9月2日(土)・3日(日)
場所：ANAクラウンプラザホテル釧路(釧路市)
釧路・北見・十勝歯科医師会役員が一堂に会する、毎年恒例の標記連絡協議会・レクリエーション大会が、今年度は釧路歯科医師会の主管で行なわれた。



道歯からは藤田会長、高橋副会長、大西専務理事に出席いただき、連絡協議会では藤田会長の中央情勢報告の後、協議事項として①在宅歯科連携事業の現状と課題について ②骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の現状について、各地区より報告があり、それに関する活発な議論が行なわれた。引き続き行なわれた懇親会では、釧路歯科医師会の皆様の「おもてなし」をいただき、美味しい料理とお酒で他地区の先生方と楽しく交流を深めた。翌日のレクリエーション大会では、ゴルフにおいて台風接近の影響による強風にも負けず、十勝歯科医師会の加藤謙一 先生が見事に優勝を飾った。また、野球では全国大会への練習を兼ねて臨

んだ十勝歯科医師会野球部は1勝1敗という結果に終わり、優勝は強打の北見歯科医師会であった。釧路歯科医師会会長の中谷先生をはじめ、役員・関係各位の先生方、今回はいろいろとお世話になりました。来年度は北見歯科医師会主管となります。何卒よろしくお願い致します。(南館直人 記)
第28回高齢者の歯のコンクール表彰式
日時：平成29年9月9日(土) 午後1時30分より
場所：帯広市保健福祉センター
標記表彰式が行なわれた。表彰は75歳、80歳、85歳、90歳以上の部で行なわれ、総数33名の入賞者があり、90歳以上の部の最優秀賞は近藤 繁 様で、受賞のご挨拶をいただいた。入賞者の皆さん、また来年この場でお会いできるのを楽しみに待っています。(大熊一豊 記)
第32回おびひろ健康まつり
日時：平成29年9月3日(日) 午前10時～午後12時
場所：帯広市保健福祉センター
毎年恒例の第32回おびひろ健康まつりが、帯広市保健福祉センターにて開催された。帯広市医師会、北海道薬剤師会十勝支部、看護師、栄養士、臨床

検査技師をはじめ、多くの協力団体が一堂に介するお祭りである。歯科部門は、午前中のみ参加だったが、150名以上の来場者があり、大変盛況な催しだった。口腔機能測定(RSST・オーラルディアゴネシス・口腔内乾燥・舌圧測定)・口腔機能向上のための、あいうべ体操・TBI・フッ化物洗口体験・歯科相談の各コーナーには、予定の人数を超えて、来場いただいた。帯広市民の健康維持向上に少しは貢献できたのではないかと思います。(大和田三朗 記)
帯広市保健衛生功労者表彰および十勝歯科医師会と帯広市との懇親会
日時：平成29年9月11日(月) 午後7時より
場所：ホテル日航ノースランド帯広「フィオーレ」
帯広市保健衛生功労者表彰及び一社)十勝歯科医師会と帯広市との懇親会が開催され、米澤 帯広市長をはじめ、帯広市の保健衛生に係る職員の皆様と懇談を行なった。まず、長年にわたり、帯広市の保健衛生に貢献された先生に帯広市保健衛生功労者表彰が行なわれ、今年は杉村明邦 先生・田中早苗 先生・柴野 憲之 先生の3名の先生が表彰されたが、柴野先生はご都合がつかず、杉村・田中先生

の2名が米澤帯広市長より表彰をされた。その後、米澤市長のご挨拶、今年の4月より十勝歯科医師会の会長になられた大滝達哉 会長の挨拶、十勝歯科医師会帯広支部の船津三四郎 先生の乾杯にて懇親会が開かれ、各担当者と意見交換、懇親を深め、十勝歯科医師会副会長の栗原先生の閉会の挨拶により散会となった。市の職員と交流を深める機会として大変有意義な会であったと思う。(大和田三朗 記)
野球部全国大会壮行会&角 選手送別会
日時：平成29年9月24日(日) 午後6時30分より
場所：平和園本店
十勝野球部の全国大会へ向けた練習に熱が入る中、チームの士気を高めるための壮行会と、大会終了後に十勝を離れる角 選手への送別会が行われた。十勝野球部に在籍した約2年の間、中心選手としてAチームを支え、全道大会2連覇・全国大会3位という戦績に貢献してくれた角 選手に対しては、部員一同感謝の気持ちでいっぱいである。もし、来年以降、全道大会で相手チームの選手として再会した時には…手加減してほしいと願っている。また、昨年の全国3位という成績を超えるべく練習に励む選手たちは、この壮行会でさらにチームの結束が深まったように思う。出場選手の皆様、全国制覇を目指して頑張ってください。(南館直人 記)

稚内

WAKKANAI

道北地区役員連絡協議会
日時：平成29年9月16日(土) 午後5時30分より
場所：稚内サンホテル
秋晴れの稚内で標記協議会が開催された。今年度は稚内が主管で、遠路はるばる旭歯会役員、留歯会役員、そして道歯会役員の方々がお越しになった。各会長より挨拶があり、出席者紹介の後、報告

事項として、各会の業務報告などが行なわれた。最後に藤田会長より、講演として道歯会の当面の課題、会務の運営についてお話しいただいた。開始時間が遅くなり、巻き気味の協議会だったが、各会の取り組みや課題などが非常に参考になった。

協議会終了後、同ホテルにて懇親会が開催され、それぞれに旧交を温めたり、意見交換がなされ、和やかな酒宴が進んだ。(三浦佐和子 記)
学術講演
日時：平成29年9月30日(土)
場所：稚内市立図書館 研修室
「超高齢化社会における歯科医療～義歯補綴治療を中心とした訪問診療～」と題し、北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 咬合再建補綴学分野 教授 越野 寿 先生に講演していただいた。世界的に前例のない速度で高齢化が進む我が国において、安心、安全な歯科医療を提供することは

大変重要なことである。講演では、社会的に注目されているフレイル(虚弱)とその構成要素となるサルコペニア、ロコモシンドロームについて解説いただいた。そして、高齢者の口腔機能向上に向けた方策について、補綴歯科治療や訪問歯科診療を軸に講演いただいた。大変わかりやすく、日々の診療に役立つ有意義な時間となり、参加人数は13名であった。講演後は、なら寿司にて懇親会を行なった。その場でも楽しいお話をいただき、楽しいひと時となった。(豊 富美子 記)

美唄

BIBAI

道央北ブロックゴルフ大会
日時：平成29年9月10日(日) 午前7時より
場所：ゴルフ5カントリー美唄コース

標記大会が行われ、10名3組と例年に比べ、参加者は少なく、また当日は朝早いスタートで集合が午前6時30分、かなりの早起きをしていただいた。しかしながら、毎回、美唄

担当のゴルフ大会は大雨になることが多く、今年も明け方は雨がかなり降っていたようだった。ところが、スタート時には雨は止み、曇りで何とか最後まで雨には当たらなかった。表彰式には、また雨が降っており、早朝スタートではあったが、暑くもなく天気には恵まれた。結果は、ダブルペリアで行なわれたが美唄歯科医師会の吉村先生が77のベスグロで優勝した。皆

さん、朝早くからお疲れさまでした。また、美唄歯科医師会で優勝、準優勝して申し訳ありませんでした。来年もよろしく願います。(川上 謙治 記)

小樽

OTARU

ぶどう狩り

日時：平成29年9月23日(土・祝) 午前10時より
場所：仁木町 井内農園

晴天に恵まれた秋分の日、小樽市歯科医師会会員とその家族・スタッフで、ぶどう狩りを仁木町で行なった。

渋谷祐史 先生ご用達の井内観光農園まで一行を乗せたバスが、小樽から秋味を求めて走った。

渋谷繁男 先生の開始の合図で、まずはお待ちかねのぶどう狩り！さまざまな種類のぶどうに舌鼓を程よく打ったところで、真打ちのジンギスカンが登場。加藤先生の乾杯に始まり、臭みもなく柔らかいサフォーク肉に、皆いつも以上に食とお酒が進んだ様子。お腹が落ちて来た頃に、今では珍しくなった杵と白での本格



的な餅つき。子どもを交えて全員で餅をつき、子どもも大興奮！あまりに楽しかったのか帰路のバスの中で帰りたくないと思図る子どもも愛らしく、お土産のぶどうとミニトマトを抱えて秋の夕日に染められていった。(細川宗靖 記)

の餅つき。

子どもを交えて全員で餅をつき、子どもも大興奮！あまりに楽しかったのか帰路のバスの中で帰りたくないと思図る子どもも愛らしく、お土産のぶどうとミニトマトを抱えて秋の夕日に染められていった。(細川宗靖 記)

衛生士専門学校球技大会

日時：平成29年9月30日(土) 午後1時より
場所：小樽市勤労青少年ホール

衛生士学校の秋の恒例行事である球技大会が、開催された。試合前に坂口先生の号令に従い、職員・学生そろって準備運動したが、運動不足の職員たちは、すでに疲弊気味で不安な開会式となった。加藤友一 学校長の前に整列した各学年代表は、息の合わない状態での選手宣誓で笑いを誘い、和やかな雰囲気のまま各コートにわかれ、ミニバレーを行なった。

職員は3チームを結成し、予選リーグに挑んだ。職員は日ごろの運動不足から苦戦が予想されたが、試合が始まると一変。教師としての姿を見せるべく果敢にボールを追いかけていた。

激しいプレーのあまり大聖康洋 副校長のシューズのソールが脱落するという大ハプニングがあったが、それでも裸足でコートを駆け回る

ガッツあふれるプレーを披露。各チームなんとか勝利を重ね、職員チームすべて予選リーグ突破の快挙となった。

決勝トーナメントでは加藤 学校長の往年のアタックが随所に炸裂し、佐藤友則 先生もその巨漢からは想像できない華麗なプレー(珍プレー?)を繰り広げ、女子学生からの黄色い声援が終始飛び交うなど、各チーム熱戦を繰り広げた。

しかし、連戦での疲労からか予選の勢いはなく、惜しくも敗退し、職員チームは最高で4位の結果となった。1年生と3年生の対戦となった決勝戦では、激しいラリー合戦となるも、経験に勝る3年生チームが終始リードを保ったまま勝利し、有終の美を飾った。

プレーをつうじて、多くの職員と交流できて、学生たちにはきつといい思い出になったと思う。学生たちはトラブルにもめげない大聖 副校長の精神力を見習って、今後の学習や臨床実習にぜひ活かしてほしい。(山本栄治 記)

後志いきいき健康まつり

日時：平成29年10月1日(日) 午前10時より
場所：ウイングベイ小樽

標記まつりが行われた。この健康まつりは、後志地域リハビリテーション広域支援センターが主



催し、この活動に参加する団体がそれぞれのブースにわかれて、市民へ情報提供するものである。例えば、医師会のブースでは肺活量測定。看護協会は認知症物忘れチェック。管理栄養士会は食事相談。理学療法士会は体力測定など12の団体のブースがあり盛り沢山である。

このイベントは小樽市の介護予防フェアと合同で開催しているため、ステージでは介護予防サポーターによる介護予防体操が披露され、にぎやかな雰囲気である。運がばも体操に参加し花を添えていた。

本会は、口臭測定と歯科検診・相談を行なった。口臭測定は毎年人気があり、多くの方が希望していた。介護予防がテーマであるため、多くは成人の方であったが、子どもの歯科相談を希望する者もいた。当日はまずまずの天候に恵まれ、500人ほどの来場者のうち、歯科医師会のブースには、153名が立ち寄って検診や測定を受けた。

(中村悦子 記)

釧路

KUSHIRO

ねむろ健康まつり

日時：平成29年9月3日(日)
場所：根室市総合文化会館 多目的ホール他

第21回ねむろ健康まつりが根室市総合文化会館で開催された。このイベントは市民一人ひとりが健康に関する意識の高揚を図ることを目的としている。

10年前1,300人だった来場者も今年は1,800人となり、健康に対する関心が高まっています



きています。根室歯学会もこの開催を後援しており、当日設置された歯科相談コーナーには会長の福井先生が担当され、市民のいろいろな質問、疑問に対して懇切に丁寧に対応していたと同時に、咀嚼嚥下を含んだ口腔機能が健康にとっても大切であるということ一人でも多くの



市民に理解していただくようお話しされていた。(島優 記)

摂食嚥下セミナー(体感実習付き)

『最新の摂食嚥下リハビリテーション』
日時：平成29年9月9日(土) 午後3時30分より

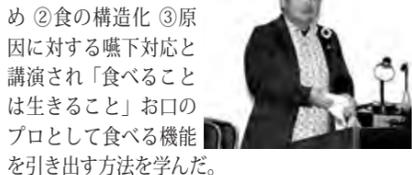
場所：釧路会館大講堂
『その嚥下食は対象者の口に合っていますか?』

日時：平成29年9月10日(日) 午前9時~午後12時
場所：釧路会館大講堂

講師：愛知学院大学 心身科学部健康科学科 講師 牧野日和 先生

『お食い締め』の牧野日和 先生をお招きして、北海道医療大学釧路支部主催・釧路会後援で学術講演会が開催された。釧路会員 西 貴宏 先生により、

牧野先生の経歴などが紹介され、①お食い締め ②食の構造化 ③原因に対する嚥下対応と講演され「食べることは生きること」お口の



プロとして食べる機能を引き出す方法を学んだ。

2日目は臨床現場に即した嚥下食と摂食嚥下機能に対応した嚥下食のコード化を学び、実際に食して実習した。

2日間で歯科関係者以外にも管理栄養士の方々等、のべ118名参加した。(本間 敦 記)

室蘭

MURORAN

市立室蘭看護専門学校 講義

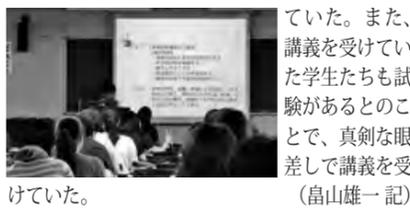
日時：平成29年8月23日(水)、9月6日(水)、27日(水)

場所：市立室蘭看護専門学校

室蘭市の須田 学術部長と工藤 学術部長による市立室蘭看護専門学校の看護学生への講義が標記の日程で行なわれた。

須田、工藤 両学術部長は、非常勤講師として2年生74名に対して、全3回の講義で口腔の解剖やう蝕、歯周病や口腔ケアなどについて講義した。

3回の講義の後は試験が行なわれるため、両先生はどのような問題を出題すべきか、頭を悩ませていた。また、講義を受けていた学生たちも試験があるとのこと



で、真剣な眼差しで講義を受けていた。(島山雄一 記)

リレーフォーライフジャパン2017室蘭

日時：平成29年8月26日(土)、27日(日)
場所：みちの駅みたら室蘭横広場

標記日程でリレーフォーライフジャパン2017室蘭が行なわれた。リレーフォーライフとは、がん患者やその家族を支援し、地域全体でがん向き合い、がん征圧を目指す1年を通じたチャリティ活動であるが、この活動も室蘭では今年で10回目を迎えた。



今回室蘭として初めて参加し、岩川 地域医療部長を中心にブースをだし、口腔ケアグッズの展示や口腔がん検診のPRなどを行なった。来場者からの質問に、会員の先生方は丁寧に対応していた。

来年もまた参加しこの活動を支援していきたい。(島山雄一 記)

平成29年度 口腔がん検診に係る事前研修会

日時：平成29年9月2日(土) 午後2時30分より
場所：室蘭会館 斎藤記念講堂

研修会①
「あやしいな」と気づく目を持つために

— 口腔がんを発見するための診察・診断方法 —
講師 奥村一彦 先生(北海道医療大学歯学部生体機能・病態学系組織再建 口腔外科学分野 教授)

研修会②
口腔がん検診のすすめ方と手技

講師 水野貴行 先生(日鋼記念病院口腔外科 科長)

9月30日(土)、10月7日(土)の2日間、室蘭会館内4会場(室蘭・登別・伊達・洞爺)にて行なわれる口腔がん検診に参加する検診協力医に対する事前研修会が開催された。

新田専務の開催、塚田副会長より挨拶があった後、工藤学術部長から2名の先生方の講師略歴紹介があった。

研修会①では、奥村先生から口腔がんにおける総論的な内容で、口腔がんの疫学、診察・診断、治療に関わる現状をわかりやすく講義があった。口腔がんの大多数は臨床医によって発見されることが多いという点、いろいろな粘膜病変における診察・診断および経過観察について写真を用いて詳

しく講義していただいた。

研修会②では、水野先生から、口腔がんにおいては他の内臓疾患と異なり、直接目で見える病変であり、全身病態と結果的にリンクしている場合も多いことが述べられた。

各部位ごとの触診方法や、実際の検診に使用される検診表の記入方法や検診時の注意事項について講義があった。今回は検診協力医の先生方にはグループにわかれていただき、実際の検診の流れに沿って、お互いに検診をしていただいた。検診協力医は検診医のもと実際に触診や粘膜の観察なども行なうことがあり、参加した先生方は検診実施に向け、大いに理解を深めていた。



(島山雄一 記)



函館

HAKODATE

第6回全国歯科医師野球大会

日時：平成29年10月8日(日)・9日(月・祝)
場所：都立大井町頭中央海浜公園

標記野球大会が開催され、前日7日(土)午後7時30分よりアルカディア市ヶ谷(私学会館)にて監督会議が開催され、全国12チームの代表者29名、全国歯科医師野球大会会長・副会長・幹事長・副幹事長・常任理事・理事・監事・顧問の18名の先生方の総勢延べ47名での会議となった。

長谷宏一 会長(福岡県歯科医師会)より「この大会が第10回・20回と続き、歴史ある大会へととなりますことを願っております」と挨拶をされた。その後、大会協議事項へと進み、熱気あふれる会議となり会議は終了した。

我が函館チームは、釧路歯科医師会より「三本和宏」先生(日本歯科大学)を強力助っ人として招き入れ、守備力・打撃力共に強化しての出場となった。

第一試合の相手は、今年選歴を迎えるとは思えないほどの剛腕投手(函館チーム木葉篤先生の同級生)と、今大会唯一女性選手のいる東海地区代表「愛知チーム」との対戦となった。変則投法の佐藤厚 投手(岩手医科大学)にてこずるも、函館チームが3点を先制する展開。村瀬尚子 選手(愛知学院大学)にはさすがに投げづらいのか函館 田中賢司 投手(奥羽大学)フォアボールを出すと、すぐに代走を出される嫌な展開。エラーも絡みなかなかアウトカウントが取れない。気が付くと5点のプレゼント。5対3と敗戦ムードが濃厚の中、函館チームの真骨頂の「粘り」を見せ、5対5の同点へ！しかも2アウト3塁。一打サヨナラのチャンス！詰めの甘さか？そのまま同点で終了。予選のため延長もなし。両チーム満足の試合内容に「ナイスゲー

ム」の声。

第二試合は、強敵「東京チーム」(結局、準優勝した) 打つわ・走るわで一方的な試合状況。11対0となり最終回の攻撃。2アウトランナー1塁・3塁。野球経験の少ない平田 充 選手(日本歯科大学)が、左投手から2塁へのノーリードからのリレードスチール(サインなし)を行なった。万事休すか？東京チームの捕手は、今大会ナンバーワンと言われている強肩の岩内洋太郎 選手(昭和大学)セカンドのまさかのエラーでボールはセンター方向へ…。サードランナーが生還し、意地の1点をもぎ取る！新セオリーを作った平田選手には球場から暖かい拍手となった。

結果、1敗1引き分けで予選敗退となった。その夜、6時から連盟式典が開かれ、続いて7時から懇親会が行なわれた。全国各地から集まった選手たちが今日の試合を振り返り、勝利チームは明日への準決勝へ、そして負けたチームは次回へのリベンジを誓った。全国各地から持ち寄った「日本

酒」のきき酒が行なわれ、函館チームが持参した幻の酒「奥尻」は2位を獲得した。

次の日は準決勝・決勝と行われる中、交流戦として予選敗退チーム同士の試合が行なわれた。函館の相手は、同点で終わった「愛知チーム」だったが、強力助っ人の三本選手のホームランもあり、見事リベンジを果たし7対4で勝利した。

ワイルドカードとして初出場することができ、この貴重な経験をさせていただいた関係各位の皆様へ心からの御礼と申し上げ、来年の北海道歯科医師野球大会(函館大会)の成功を胸に誓い、ペンを置くこととする。(向山明明 記)



苫小牧

TOMAKOMAI

歯科技工士会・歯科衛生士会・歯科医師会 役員協議会

日時：平成29年7月28日(金) 午後7時30分より
場所：第一洋食店



標記協議会が開催され、歯科技工士会、歯科衛生士会、歯科医師会それぞれの理事がほぼ全員参加し、総勢34名の初顔合わせとなった。

例年だと「歯っぴいフェスタ」と「歯の健康まつり」でイベントを共催するのだが、本年度は「歯の健康まつり」を取りやめ、代わりに苫小牧市主催の「健康フェスタとまこまい2017」にそれ

ぞれのブースとして、初めて参加することが決定している。

参加者の中には新任理事も含まれ、お互いの自己紹介、そしてまずは任期である二年間のお互いの協力を確認する機会となった。(関俊也 記)

「むし歯予防教室」説明会

日時：平成29年8月23日(水) 午後8時より
場所：苫小牧市医師会館 2階 研修室2

苫小牧市では市内全小学校の5年生を対象として「むし歯予防教室」を毎年開催している。これは地域の小学校へ苦歯会員歯科医師と歯科衛生士会の衛生士が出向き、3時間目と4時間目を利用して、むし歯予防に関する自主制作DVDや顎模型を利用してブラッシング指導を行なうものである。

毎年9月末～10月に開催されるため、全体説明会は省略されていたが、本年度は担当理事の交代、新規入会会員があったため、説明会を行なって、ベテランの先生には確認を、新規に担当となった先生には実施要項の説明を行なった。

学校側からは他の学区では見られない、



子供達への貴重な授業として評価を得ており、各担当間でのばらつきがないよう、実施にあたっての確認を行なう機会となった。(関俊也 記)

第58回三師会親睦ゴルフコンペ

日時：平成29年8月27日(日) 午前8時3分スタート
場所：千歳空港カントリークラブ (白鳥～おしどりコース)

標記ゴルフコンペが開催され、苫小牧市医師会から11名、苫小牧薬剤師会から6名、苫小牧歯科医師会から7名、合計24名の先生方が参加された。このゴルフコンペは各会が持ち回りで幹事を行っており、今年度は苫小牧歯科医師会ゴルフ部が主管としての開催であった。



この日は毎年札幌で北海道マラソンが行なわれ、例年だと暑い時期となるのだが、今年は週末になると雨に祟られたり、肌寒かったりと天候が心配ではあったが、当日は久しぶりの真夏日のなかでのゴルフとなった。

普段はなかなか顔を合わせる事のない医・薬・歯会の先生方と親睦を深めることができたゴルフコンペであった。(関俊也 記)

苫小牧歯科医師会野球部練習試合

日時：平成29年9月10日(日) 午前9時より
場所：千歳キリンビール野球場

第68回野球大会での結果と来年の函館大会に向けての準備として、そして短い北海道の夏はまだ終わっていない！ということで、札幌デンタル野球部の胸を借りる形で苫小牧野球部練習試合を行なった。

前日は夜まで雨が降り、開催が危ぶまれた感があったものの、当日は朝から晴天となつて絶好の野球日和となった。

メンバーそれぞれが課題を確認し、野球部としての今年度最後を良い形で締めくくることができたと思う。(関俊也 記)



日高

HIDAKA

第65回北海道保健研究大会日高(新ひだか)大会

日時：平成29年10月1日(日) 午前9時30分より
場所：新ひだか町総合市民センター 「はまなす」
標記大会が開催され、学校保健功労者表彰の本

会関係分として、4名(吉川英彦先生、谷本恵子先生、波川博明先生、山口一史先生)の学校歯科医が表彰された。

また、部会別研究協議の「学校経営と組織活動」では、部会運営の助言者として、山口一史先生が参加された。(原田史也 記)



平成29年度第6回日高歯科医師会ゴルフコンペ

日時：平成29年9月24日(日)
場所：平取カントリー倶楽部

今年度6回目のゴルフ部の活動が行なわれた。短い残暑が終わった秋空のもとに3名の精鋭ゴルフ部員が集まった。

中村ゴルフ部部長の開会宣言でコンペがスタートした。結果は、西川一雄 会長が優勝し、スコアは80だった。準優勝は中村部長、三位は井上達也先

生だった。秋晴れのやや低い気温だったが、無事にコンペ終了となった。日高歯科医師会のゴルフ活動も残り1回となった。ますますの健康増進と目指して活動していこうと思う。(青山哲也 記)



後志

SHIRIBESHI

第5回後志デンタルゴルフ

日時：平成29年9月9日(土)
場所：HANAZONO GOLF
出席者：練合・柏谷・長澤・土方・西崎・中川・原・佐藤・中村

9月9日未明、突然の雷光、轟音、、、もしや、、、朝、眠れぬ夜を過ごした一人の男が空を見上げ、「これぞ時の声」今季初コンペ参加に、完全復活を誓い、いざ戦いの場へ。

当日、スタート前にはすっかり雨も上がり、まずまずのゴルフ日和。NO1.ホールN合会長の、ど引っかけ左OBでコンペスタート!!よほど前日のスキ



ノが楽しかったのであろう。ハーフの頃には、汗ばむほどの陽気となり、皆、明るく、楽しく、面白

く、ニセコ mountain に笑い声と絶叫がこだましたのであった。

復活を期したN川も、無事ホールアウト。結果はな～んにも成長なし。いつもどおりのスコアであった。

結果	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	
優勝	佐藤	46	50	96	20	76
準優勝	中川	47	50	97	21	76
1位	西崎	49	47	96	19	77
B.B	中村	61	54	115	26	89
B.G	土方	43	43	86	6	80

PS
まああ、ゴルフできただけよし!!
あーあ、楽しかった。(中川 徹 記)

平成29年度 ボウリング部 9月月例会

日時：平成29年9月12日(火) 午後8時から午後10時
場所：岩内ファミリーボウル

今大会は青山先生が監修のもと、牛トロやハンバーグが賞品となる大会であった。優勝は肉に



強い山田先生。フックボールが冴えていた。来月は会のスケジュール上、例年11月開催の後志歯科医師会主催のボウリング大会が10月に賞品は月例会にくらべ、豪華になる。たくさんの先生方のご参加をお待ちしています。(伊藤 純 記)

	①	②	③	HDCP	
優勝	山田	182	204	198	50→46
準優勝	青山	200	204	190	32→30
1位	黒田	212	221	182	45→38
2位	伊藤	214	164	244	38→31
3位	長澤	211	174	180	34→35
4位	井筒	152	155	202	44→51
5位	中村	171	185	189	42→45
BB	土方	175	194	184	40→42
BM	土方妻	163	161	176	50→58

HDCPは先月までの平均Aveと今回のAveとで平均Aveを出し200からの80%で算出した。

小樽・後志対抗ゴルフ

日時：平成29年9月23日(土・祝) 午前7時30分から午後1時30分
場所：エーヴランドゴルフクラブ

出席者 西崎公一、練合哲哉、中川 徹、土方敬久、中村直喜、長澤 稔、大倉雅顕、千葉 亘、兵藤博昭、高橋一秋、谷向利紹、(敬称略)

会員6名、小樽会員5名
もう朝は寒いかもとの心配をよそに、気持ちのいい秋晴れの中、今年の小樽・後志対抗ゴルフは後志の主管で行なわれた。参加者こそ少なかったが、小樽も後志もゴルフ部を代表する精鋭が集結し、歯科医師会のプライドをかけた熱い戦いが繰り広げられた。

ダブルベリアのトリプルカットで行なわれ、表彰式では下位から発表され、3位まで発表された時点で残ったのは、小樽の番長 高橋プロと後志の組長 練合プロ。小樽と後志のシマとしのぎを賭けた番格対決は練合組長に軍配があがった。

その後、懇親会では、早く帰ったそうなお小樽の先生を捕まえ、ガンガンと焼酎のボトルを空け、「後志はほんと元気だなぁ…」と言う毎年恒例の声が今年も聞こえてきたのは言うまでもないだろう。来年は小樽主管で小樽カントリー旧コースでの開催が予定されている。(長澤 稔 記)

